

前頭葉機能検査 Frontal Assessment Battery (FAB)

氏名： 様 (歳)

検査者：

検査日：



	方法・手順	得点	採点基準
類似性	1. 「概念化」⇒これから言う2つものは、どこが似ているか考えて答えて下さい。 ①「バナナとオレンジ（ミカン）」（正解：果物、フルーツ） ②「テーブルとイス」（正解：家具） ③「チューリップとバラとキク」（正解：花、植物）	3	3問正答 <回答> ①
		2	2問正答 ②
		1	1問正答 ③
		0	正答なし
語の流暢性	2. 「知的柔軟性」⇒「か」から始まる言葉を出るだけ沢山答えて下さい。 ただし、人の名前や地名などは答えてはいけません。 ・最初の5秒間に答えが出ない場合は、「例えばカラス」などヒントを与える ・更に10秒間答えがなかったら「"か"から始まる言葉では何でも良いですよ」など刺激を与える ・制限時間は60秒間	3	10語以上 <回答>
		2	6語以上
		1	3語以上
		0	2問以下
運動系列	3. 「運動プログラミング」⇒「私がこれからすることをよく見ておいて下さい」（拳-刀-掌）を3回実施する。 「それでは私と一緒に同じようにやって下さい」 「次は1人をお願いします。・・・続けてお願いします。」 ・対面の場合は、検者は左手で行い、被検者は右手（利き腕）で行うように促す（麻痺など運動障害がある場合を除く） ・最初是一緒に行うなど流れを理解させる	3	独りで、正しい系列を6回以上できる
		2	独りで、正しい系列を少なくとも3回連続してできる
		1	独りでできないが、検者と一緒に正しい系列を3回連続してできる
		0	検者と一緒でも正しい系列を3回連続してできない
反応の選択	4. 「葛藤指示」⇒「私が1回叩いたら、2回叩いてください」 被検者が指示を理解したことを確認してから、次の系列を実施「1-1-1」 ・次は、「私が2回叩いたら、1回叩いてください」 被検者が指示を理解したことを確認してから、次の系列を実施「2-2-2」 ・「次は1回叩いたり、2回叩いたりするのでやってみましょう」 つぎの系列を実施する 「1-1-2-1-2-2-2-1-1-2」	3	間違いなく可能 <メモ>
		2	1,2回の間違いで可能
		1	3回以上の間違い
		0	・検者と同じように4回連続して叩く ・全く叩かない ・全て1回（2回）叩く ただ叩いている
GO/NO-GO	5. 「GO/NO-GO」 ⇒「今度はやり方が変わります。私が1回叩いたら、1回叩いてください」 被検者が指示を理解したことを確認してから、次の系列を実施「1-1-1」 ・次は、「私が2回叩いたら、叩かないでください」 被検者が指示を理解したことを確認してから、次の系列を実施「2-2-2」 ・「次は1回叩いたり、2回叩いたりするのでやってみましょう」 つぎの系列を実施する 「1-1-2-1-2-2-2-1-1-2」	3	間違いなく可能 <メモ>
		2	1,2回の間違いで可能
		1	3回以上の間違い
		0	・検者と同じように4回連続して叩く ・全く叩かない ・全て1回（2回）叩く ただ叩いている
自主性	6. 「把握行動」⇒「私の手を握らないでください」 被検者に両手の手掌面を上に向けて机の上に置くように指示する。検者は何も言わないか、あるいは被検者の方を見ないで、両手を被検者の手の近くに持っていき両手の手掌面に触れる。被検者が自発的に検者の手を握るかどうかをみる。もし、握ってしまった場合には「今度は、私の手を握らないでください」と言って、もう一度繰り返す	3	被検者は検者の手を握らない
		2	被検者は戸惑って、何をすればいいのか尋ねてくる
		1	被検者は戸惑うことなく、検者の手を握る
		0	被検者は握らなくともいいと言われた後でも、検者の手を握る
	合計	／18	